

霞が関に110団体「ダムより震災復興」

2012年01月18日



ハツ場ダム建設再開に抗議するため、国土交通省に向けて行進する市民団体のメンバー＝東京都千代田区霞が関2丁目

れ」と叫んだ。抗議文は野田佳彦首相にも出した。

政府が昨年末に建設再開を決めてから、見直し派の大規模な催しは初めて。ハツ場の慎重派動してきた人たちは「県外では過去に例のない盛り上がりだ」と力を込めた。

民主党政権は昨年末、ハツ場以外にも、東京外郭環状道路(東京都など)や整備新幹線といった事業を続々と復活させた。

夕方には永田町の衆院第一議員会館で緊急抗議集会を開催。議員や学者らも含めて約300「民主党批判大会」の様相となった。

共産党の塩川鉄也衆院議員は、自らが中心に手がけたダム関連事業の受注実績の調査結果

2008年度～11年11月に、国交省ハツ場ダム工事事務所からコンサルタントや測量などの業136法人のうち、少なくとも45法人は同省や群馬、栃木各県といった役所OBが再就職した「天摘。「政官財癒着をただすモデルケースとしてきたハツ場すら、民主党政権は復活させた」と批判

社民党首の福島瑞穂参院議員は「消費税を上げてハツ場ダムや外環道をつくるのは矛盾だ」、党手続き中の中島政希衆院議員は「歴史的愚行に手を貸し、民主党は立党の理想を失った」と

ハツ場ダムの建設再開に反対する催しに、全の市民団体が結集した。17日に東京で開かれた集会。「不要不急のダムはいらない」と訴え、活に向けて氣勢を上げた。

「ダムより震災復興が必要だ!」「消費増税をるのにダムをつくるなんて!」

この日午後、霞が関の官庁街には、市民団体コールが響いた。

一行は「ストップハツ場ダム」と書かれた旗を余が日比谷公園から国土交通省まで行進。前交通相あての抗議文を提出し、「民主党はマコ

民主党の国会議員は平身低頭。平智之衆院議員は「予算は計上されたが、執行させないよう」約束した。

巨大公共事業の見直しに取り組む全国からの「現地報告」もあった。

川辺川ダム(熊本県)の建設反対に取り組む「子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民中島康さん(71)は「ハツ場が止まらなければ川辺川も危ない。ダムを止めるための作戦を立て拍手を浴びた。

最後に集会宣言を採択。不要不急な公共事業の予算撤回▽巨大公共事業に投入される財源震災復興に回す——といった5項目を盛り込んだ。来年度予算の審議前に国会議員に知っても催者は、25日に議員会館を回って訴える。

「ハツ場ダムをストップさせる東京の会」代表の深沢洋子さん(54)は「ダムを造って増税なんてう意思を示せた」と手応えを語った。(伊藤弘毅、小林誠一)



ダム検証のあり方を問う科学者の会は17日、ハツ場ダム再開で官房長官が前提とした利根川整備計画について、野田佳彦首相と前田武志国土交通相宛てに要請文を出した。

会は共同代表の今本博健京大名誉教授(河川工学)や川村晃生慶大教授(文学)ら11人が呼びとめ、全国の学者126人が賛同。2008年から作業が止まっている整備計画が、ハツ場ダムをいカギとみて、見直し派の学者としての統一要請になった。

要請書では、整備計画をつくる有識者会議の人選見直し▽公開で議論できる場▽有識者会議——の3点を要求。今本名誉教授は取材に「建設再開にかかわった国交省の有識者会議は推進官僚主導の流れを止め、科学的かつ客観的に議論し尽くすべきだ」と話した。